

週間漁海況情報—第33号

平成25年8月26日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

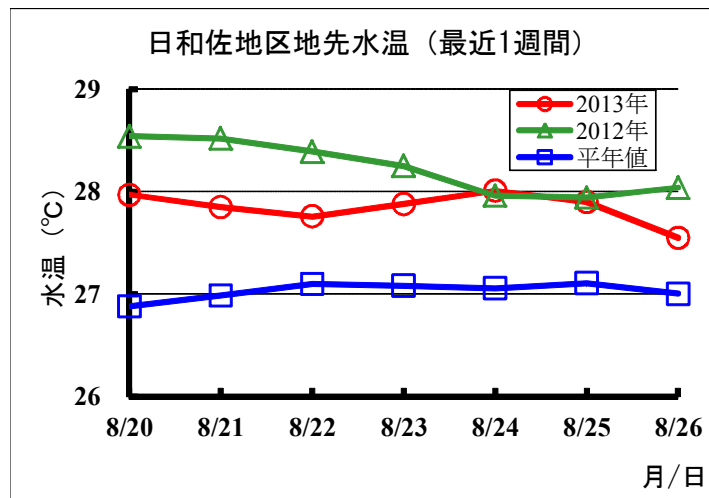
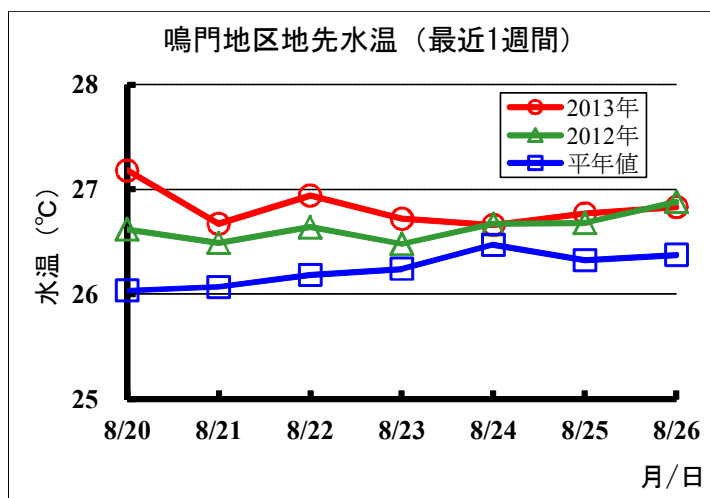
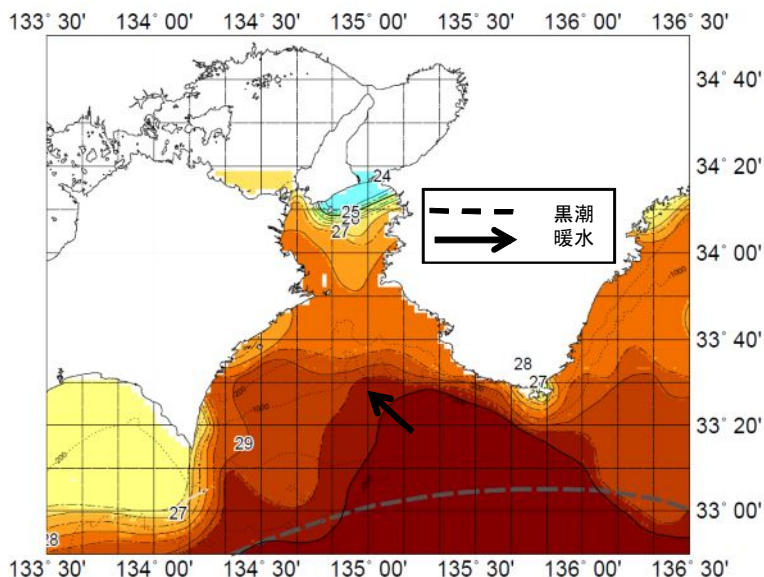
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.8.26）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、29～30℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で26～27℃台、紀伊水道で24～28℃台、海部沿岸で27～29℃台である。紀伊水道外域では、潮岬沖から紀伊水道中央付近にかけて29～30℃台の暖水流入が見られる。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並」～「やや高め」の26.7～27.2℃、日和佐地区は「やや高め」の27.6～28.0℃、牟岐地区は「低め」～「やや高め」の25.4～28.3℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にアカムツが0.9トン（1日1隻あたり18kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが1.2トン（同30kg）、サバ類が0.5トン（同28kg）、マルソウダが5.0トン（同152kg）、小小主体にカマス類が3.6トン（同105kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、イサキが0.3トン（同15kg）、活主体にヨコワが0.3トン（同2kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが108.5トン（同700kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 8月19日～8月25日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量 (kg)	1日1隻当たり漁獲量 (kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	50	920	18	大主体
小型定置網		マアジ	40	1,207	30	小主体
		サバ類	18	507	28	
		マルソウダ	33	5,018	152	
		カマス類	34	3,582	105	小小主体
釣り		イサキ	21	313	15	
	ヨコワ	202	335	2	活主体	
パッチ網	紀伊水道	シラス	155	108,500	700	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の8月20日～8月26日においては、海部沿岸では、延縄で、中・大主体にアカムツが0.3トン、小型定置網で、小主体にマアジが0.3トン、マイワシが0.7トン、ウルメイワシが0.6トン、マルソウダが1.0トン、紀伊水道では、パッチ網で、シラスが62.0トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖において、「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の26～27℃台、日和佐地先で「平年並」～「やや高め」の27～28℃台で推移する見込み。